

クライストチャーチ地震から3年を迎えて

クライストチャーチの復興への歩みは始まったばかり。地震で甚大な被害を受けた地域は「レッドゾーン」と呼ばれ、地震から2年あまりの間、立ち入りが禁止されました。



地震により崩れた崖。崖に面した家々は無人となって放置されています。

立ち入り禁止が解除された今では、被災した建物を取り壊して更地にしたり、建設を開始したところもある一方で、手つかずの状態に取り残されている家屋やビル、崖が崩れたままむき出しになっている斜面も依然として目立ちます。更なる崩壊の恐れがあるところにはコンテナを設置したり補強するなど、二次災害を防ぐ工夫が凝らしてあります。しかし、かつてのクライストチャーチの街並みを取り戻すには、長い道のりが必要です。

2014年2月22日。ご遺族や身近な方々だけの慰霊祭と、一般の方々でも参加できる政

府主催の慰霊祭が2回に分けて厳かに執り行われ、地震発生の日午後0時51分には黙とうが捧げられ、亡くなった方々の死を静かに悼みました。今回、赤十字も参加し、哀悼の意を表して、赤のカーネーションで彩られた花輪を慰霊碑に手向けしてきました。



クライストチャーチの公立公園「ハグレイ公園」に建てられた慰霊碑と、命日に手向けられた数々の花

日本人28人を含む115人が犠牲となったCTVビル跡地は、花と芝生で敷き詰められ、人々が集って追悼できるような広場に様変わりしていました。また、別の場所では、敷地いっぱいには並べられた185脚の白い椅子。犠牲者一人ひとりが安らかに休めるようにとの思いを込めて、置かれています。



人々は、この場所を訪れるたびに、地震の悲惨さを思い出し、亡くなった方を悼むと同時に、この悲しみをばねにして、災害に強い街づくりに取り組んでいこうとしています。ニュージーランド赤十字社も、震災を教訓に彼らと共に、クライストチャーチの復興を継続して支援します。



CTVビルの跡地

ニュージーランド赤十字社から日本のみなさまへ

ニュージーランド赤十字社は、地震の被害を受けたカンタベリー地方の人々に寄り添って、この災害と一緒に乗り越えようとしています。復興への道のりは、短距離競走ではなくマラソンです。赤十字は被災者への支援を継続して行っていきます。

復興支援の最大の活動である助成金においては、発災直後にニュージーランド赤十字社地震委員会を結成し、きめ細かに被災者に届けられました。助成金は総額8,900万NZD、受益者は109,710人に上り、クライストチャーチ市の人口の25%（4人に一人）が何らかの助成金を受け取ったこととなります。

2014年2月22日で発災から3年を迎え、ニュージーランド赤十字社が行っている復興支援は持続的な活動へ移ってまいっています。助成金については、今後2年間でさらに1,460万NZDの助成金を提供して、被災者を支えていく予定です。

ニュージーランド赤十字社は、世界各国からの支援を忘れません。特に、日本国民の皆さまからの温かいご支援は、ニュージーランドの人々のこころにいつまでも残っていくことでしょう。

温かいご支援、どうもありがとうございました。

これからもクライストチャーチを見守っていきましょう。

ニュージーランド赤十字社
マーケティング部長
ロス キャメロン (Ross Cameron)



お問い合わせ

日本赤十字社事業局国際部国際救援課

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

TEL. 03-3437-7088 (ダイヤルイン) ホームページ <http://www.jrc.or.jp/>

ニュージーランド クライストチャーチ地震から3年



地震発生の瞬間、白い埃が立ち昇るクライストチャーチ市内。

2011年2月22日午後0時51分（日本時間午前8時51分）、ニュージーランド南島クライストチャーチ市でマグニチュード6.3の地震が発生。

日本人28人を含む185人が犠牲となり、6,000人以上が負傷。液状化現象も起こり、被害家屋は50,000棟に上る大惨事となりました。

ニュージーランド政府は国家非常事態宣言を発令。ニュージーランド赤十字社は政府と協力して、発災直後から懸命な救助活動を行いました。

多くの日本人も被災したことから、日本赤十字社も医師や看護師など8人から成るこころのケアチームを2月27日に派遣。3月21日までクライストチャーチにて日本人被災者とその家族を支援しました。また、日本人被害者のご遺族へ見舞金を支給するため、ニュージーランド赤十字社に取り次ぐ重要な役割を担いました。

日本赤十字社には約5億6千万円の寄付金が寄せられ、日本赤十字社をはじめ

とする各国赤十字社からの寄付金は約2,448万ニュージーランドドル（NZD、約20億8千万円※）に上りました。一方、ニュージーランド国内でも約9,999万NZD（約85億円）の寄付金が集められました。

ニュージーランド赤十字社及び日本赤十字社は、皆さまからのご支援をもとに、緊急救助活動に続き、被災者の長い復興の道のりを支えています。



2014年2月22日でニュージーランド・クライストチャーチ地震から3年が経ちました。今回、皆さまの支えにより実施してきた赤十字の活動をリーフレットにまとめました。

心からのご支援・ご協力、誠にどうもありがとうございました。

(※) 1ニュージーランドドル=85円で換算